

# 海況速報（クロロフィルa分布）

平成27年1月5日

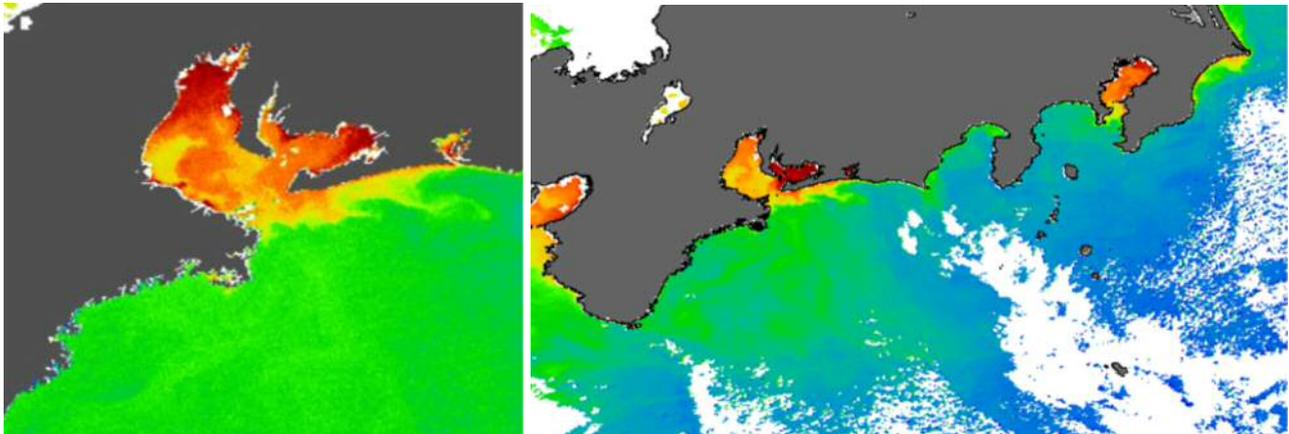
愛知県水産試験場 漁業生産研究所

1月5日の人工衛星クロロフィルa画像によると、クロロフィルa濃度は伊勢湾、三河湾ともに高く、両湾奥部では特に高くなっています。広域図では、遠州灘のクロロフィルa濃度が低くなっています。12月下旬から渥美外海、遠州灘へ黒潮系水が流入しており、現在も暖水が流入している模様です。

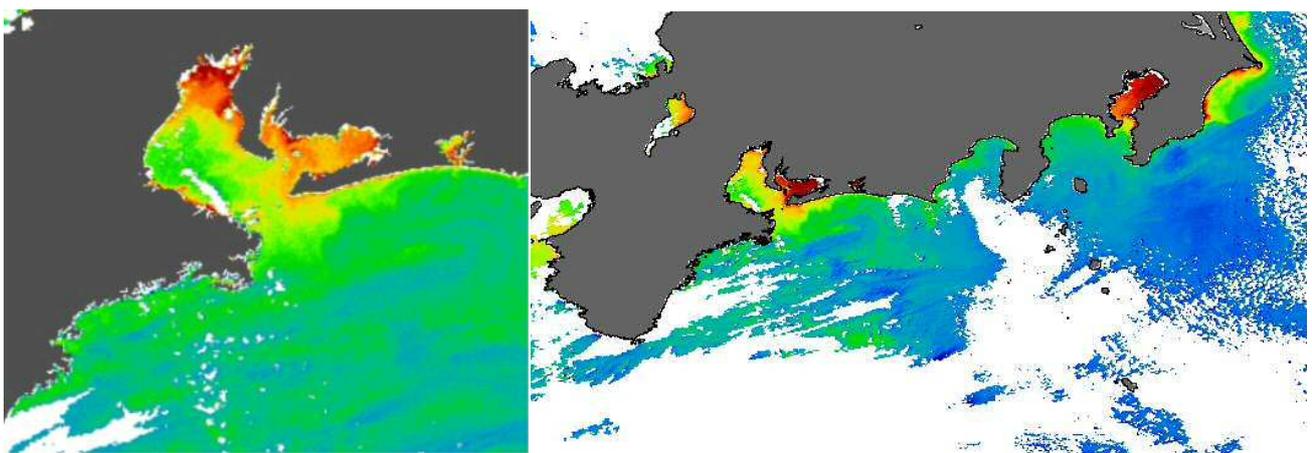
※黒潮はクロロフィル濃度が低く（生産性が低い）、濃青色で表示されるため、海色の違いから黒潮流路の推測を行うことができます。

（宇宙航空研究開発機構（JAXA）／東海大学（TSIC/TRIC）提供のMODIS画像）

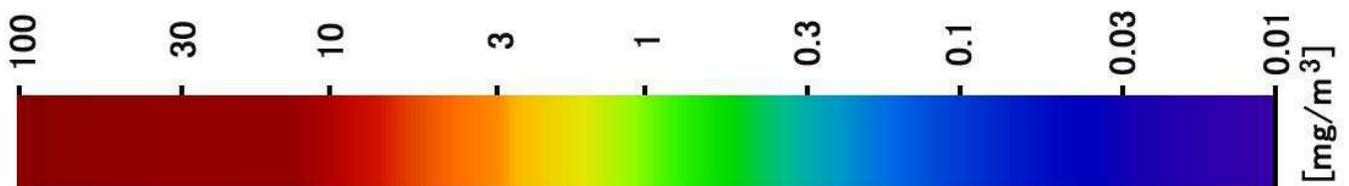
平成27年1月5日のAQUAによるクロロフィルa濃度分布



平成26年12月27日のAQUAによるクロロフィルa濃度分布



画像表示色とクロロフィル濃度の関係



# 海況速報（クロロフィルa濃度の変動）

平成27年1月5日

愛知県水産試験場 漁業生産研究所

人工衛星 AQUA に搭載された MODIS センサーから得られた表層クロロフィル a 濃度をモニタリングしています（宇宙航空研究開発機構（JAXA）／東海大学（TSIC/TRIC）提供）。各海域のクロロフィル a 濃度は 12 月上～中旬にピークとなり、以降は低下しています。（12 月 31 日までのデータ）

